

生活と環境 展示会

10月24日(月)・10月25日(火)

[※24日 12:00～16:00、25日 9:30～16:00]

廃棄物・リサイクル、生活衛生、環境保全関係の企業、関係団体、NPO等の幅広い層の方々の環境活動の発信・紹介の場として、また情報交換、ネットワーク形成の場として展示会を開催します。

【出展者企業・団体】 (9月9日現在・五十音順)

- 公益財団法人イオン環境財団
- 株式会社市川環境エンジニアリング
- 荏原環境プラント株式会社
- 川崎重工業株式会社
- 株式会社環境新聞社
- 北九州アッシュリサイクルシステムズ株式会社
- JFE エンジニアリング株式会社
- 水ing エンジニアリング株式会社
- 一般社団法人全国給水衛生検査協会
- 株式会社タクマ
- 千葉市
- 公益社団法人日本ペストコントロール協会・
- 一般社団法人千葉県ペストコントロール協会
- 日立造船株式会社
- 株式会社プランテック
- 一般社団法人ふるしき研究会

ホームページのご案内

本大会への参加、抄録集のダウンロードには、ホームページより事前のお申込が必要となります。URL等よりご確認ください。



<https://www.jesc.or.jp/training/tabid/141/Default.aspx>

協賛団体 (五十音順)

- 株式会社エネルギージャーナル社 / 一般社団法人環境衛生施設維持管理業協会 /
- 株式会社環境産業新聞社 / 株式会社環境新聞社 /
- 特定非営利活動法人最終処分場技術システム研究協会 /
- 一般社団法人産業環境管理協会 / 公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団 /
- 一般社団法人持続可能社会推進コンサルタント協会 /
- 一般社団法人浄化槽システム協会 / 全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会 /
- 全国環境衛生職員団体協議会 / 全国環境整備事業協同組合連合会 /
- 公益社団法人全国産業資源循環連合会 /
- 一般社団法人全国浄化施設保守点検連合会 / 全国浄化槽推進市町村協議会 /
- 一般社団法人全国浄化槽団体連合会 / 一般社団法人全国清掃事業連合会 /
- 公益社団法人全国都市清掃会議 / 公益社団法人大気環境学会 /
- 日報ビジネス株式会社 / 一般社団法人日本火葬技術管理士会 /
- 日本家庭用殺虫剤工業会 / 一般社団法人日本環境衛生施設工業会 /
- 公益財団法人日本環境協会 / 特定非営利活動法人日本環境斎苑協会 /
- 公益財団法人日本環境整備教育センター / 一般社団法人日本環境保全協会 /
- 公益財団法人日本建築衛生管理教育センター /
- 公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター / 公益社団法人日本水道協会 /
- 株式会社日本水道新聞社 / 公益社団法人日本ベストコントロール協会 /
- 日本防疫殺虫剤協会 / ねずみ駆除協議会 / 一般社団法人廃棄物資源循環学会 /
- 一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会 / 公益財団法人廃棄物・3R研究財団 /
- 一般社団法人プラスチック循環利用協会

第66回

生活と環境全国大会

地域から始める！
脱炭素社会の実現に向けて



参加
無料

事前登録制 詳細・ご参加のお申込はHPをご覧ください

生活と環境全国大会は、環境、廃棄物・リサイクル、生活衛生の分野に携わる行政、産業界、市民等の関係者が、顕彰と交流を通じて環境保全の普及啓発や情報交換を行います。



会場 幕張メッセ 国際会議場

(千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1)

日程 2022年10月
24日(月)・25日(火)

オンデマンド配信期間(予定)
2022年11月14日(月)～12月23日(金)

主催：一般財団法人日本環境衛生センター
後援：環境省、厚生労働省、千葉県、千葉市

感染状況により開催方法を変更する可能性があります。
詳細が決まり次第、随時ホームページ等でご案内いたします。

お問い合わせ 第66回 生活と環境全国大会 事務局

一般財団法人日本環境衛生センター
総局 管理部企画広報課

〒210-0828 神奈川県川崎市川崎区四谷上町 10-6
TEL 044-288-5095 FAX 044-299-2294
<https://www.jesc.or.jp/training/tabid/141/Default.aspx>



10月25日(火) @国際会議室

大会式典
(12:00 ~ 13:15)

環境衛生、環境保全及び 3R 推進、生活環境改善事業、監視業務等に永年尽力し、功績のあった個人や団体に対し、環境大臣表彰、厚生労働大臣感謝状、厚生労働省医業・生活衛生局長感謝状、生活と環境全国大会長感謝状の授与式を行います。

特別講演
(13:20 ~ 14:20)

気候危機のリスクと社会の大転換

江守 正多 氏

東京大学未来ビジョン研究センター 教授、
国立環境研究所地球システム領域 上級主席研究員



【プロフィール】

1970年神奈川県生まれ。1997年に東京大学大学院 総合文化研究科博士課程にて博士号(学術)を取得後、国立環境研究所に勤務。2022年より東京大学 未来ビジョン研究センター 教授(総合文化研究科 客員教授) / 国立環境研究所 地球システム領域 上級主席研究員(社会対話・協働推進室長)。専門は気候科学。IPCC(気候変動に関する政府間パネル)第5次および第6次評価報告書 主執筆者。著書に「異常気象と人類の選択」「地球温暖化の予測は「正しい」か?」、共著書に「地球温暖化はどれくらい「怖い」か?」「温暖化論のホンネ」等。

10月24日(月) @中会議室201

生活衛生公開講座(13:10 ~ 16:05)

「気候変動に関わる動物由来感染症と特定外来生物」 「生活衛生行政全般と避難所衛生対策」

前半は「気候変動と動物由来感染症」、「定着瀬戸際と定着後年数を経た特定外来生物、それぞれの現状と防除」の二題、後半は生活衛生分野の話題として、「生活衛生行政全般について」、「災害時・避難所の衛生対策てびきの解説」について、各分野の専門家や行政担当者からお話をいただきます。

13:15 気候変動と動物由来感染症
13:50 沢辺 京子(国立感染症研究所)

13:50 定着瀬戸際と定着後年数を経た
14:40 特定外来生物、それぞれの現状と防除
坂本 洋典(国立環境研究所)

14:50 生活衛生行政全般について
15:30 溝口 晃壮(厚生労働省)

15:30 災害時・避難所の衛生対策てびきの解説
16:05 中臣 昌広(日本環境衛生センター)

10月24日(月) @中会議室301

廃棄物公開講座(14:00 ~ 16:05)

「脱炭素社会に向けたプラスチック資源循環の 取り組み事例(先進的事例)と今後の展望」

脱炭素社会に向けて、廃棄物処理の分野においてはプラスチックの資源循環が大きな役割を担っています。今春、プラスチック資源循環促進法が施行され、全国の多くの市町村等が取り組みの検討を始めておられますが、具体的な取り組み方法等で苦慮するケースもあるようです。同法律施行後の状況を踏まえ、環境省から法律の概要、今後の展望等を講演していただくとともに、事業者及び市町村での先進的な取り組み事例の紹介を行い、当該事業への取り組み、実施状況、課題等について情報共有を行います。

14:00 挨拶
14:05

14:10 「プラスチックに係る資源循環の促進等に
14:30 関する法律」の施行について
江藤 文香(環境省)

14:35 プラスチック削減、資源循環に関する
14:45 日本環境衛生センターの取り組み
鈴木 弘幸(日本環境衛生センター)

14:50 地域社会と推進するイオンの使い捨て
15:10 プラスチック削減と資源循環の取り組み
鈴木 隆博(イオン株式会社)

15:15 京都市におけるプラスチックの資源循環の取り組みについて
15:35 ~プラスチック製品の分別回収に向けた社会実験を経て~
大沼 康宏(京都市)

15:40 松本市におけるプラスチックリサイクルの取り組み
16:00 両角 昌幸(松本市)

廃棄物最新処理技術セミナー(12:15 ~ 13:45)
プラントメーカーの最新処理技術発表
※軽食を用意しております。(先着 100名を予定)

10月25日(火) @国際会議室

環境保全公開講座(14:30 ~ 16:00)

「脱炭素先行地域の選定と地域の脱炭素化」

本大会のテーマである「地域から始める!脱炭素社会の実現に向けて」のもと、環境保全公開講座では、環境省が実施する「脱炭素先行地域づくり」に関する取り組み等をクローズアップし、環境省から本年度の選定の経緯と結果について解説いただくとともに、脱炭素化社会に向けて取り組みをされている地方自治体の事例をご発表いただくことにより、当該事業の推進に資するとともに、脱炭素化の実現に向けた地域資源の活用策を検討する機会とします。

14:30 脱炭素先行地域や重点対策の取組とその事例
15:00 高橋 亮介(環境省)

15:00 脱炭素とレジリエンス向上の同時実現を目指して
15:30 秋山 智博(千葉県)

15:30 脱炭素社会の実現に向けた小田原市の取組
16:00 山口 一哉(小田原市)

併催
行事

10月24日(月)

全国環境衛生・廃棄物関係課長会
環境衛生部会/廃棄物部会/総会
令和4年度 第36回全国火葬情報交換会

10月25日(火)

全国環境衛生職員団体協議会 事例研究発表会/総会